

「県立病院改革に関する住民説明会」の概要について

1 報告内容

■ 日 時：平成22年2月20日（土）13時30分～15時35分

■ 場 所：志摩市阿児アリーナ

■ 参加者数：209名

2 主な意見の概要：

（1）基本方針に対して

- ・三重大学の協力、支援が必要であるとしているが、三重大学はこの改革に対して関心を持ってきているのか。
- ・基本方針は当たり前のことであり、これらは県がやるべきである。この方針では、結局は丸投げである。
- ・公的な医療に対する責任は県がしっかりと持つべきである。
- ・職員の問題はどうするのか。職員も地域住民であり税金面や消費面などで地域に貢献しており、いなくなれば市にとっても問題である。
- ・指定管理者制度を導入することで医師不足は解消できるのか。
- ・開業医、市立病院、町立病院との地域連携はどう考えているのか。
- ・志摩病院がなくなると市民が一番困る。この改革は進めないといけないのか。
- ・10年前は医師が過剰であったが、最近になって何故医師不足が生じてきたのか。

（2）指定管理者の運営に対して

- ・指定管理者はどのような事業者を想定しているのか。
- ・医療機器などの導入経費は、指定管理料とは別に県が負担するのか。
- ・医師確保など、県ができないことを何故指定管理者ができるのか。
- ・移行後の志摩病院の医療水準はどのように確保するのか。
- ・指定管理者制度導入後、常設の委員会などを設置して、地元住民の意見、要望を聴いてそれに対応していく仕組みを確立すべきである。
- ・指定管理者が撤退したらどうするのか。

（3）現在の病院の状況に対して

- ・現況が非常に悪く、医師もどんどん辞めている。特に、小児科は既に危機的な状況であり、平成24年まで待てない。それまでどうやっていくのか。
- ・今の志摩病院を守っていかないと、指定管理者として運営しても良いという事業者も出てこなくなる。
- ・地域の住民は今の志摩病院の診療体制すら知らない人、誤解している人が多い。住民に分かり易い、より良い病院にするためにはもっと情報を発信してほしい。
- ・志摩病院の外来棟の増改築は何であったのか。何故多額の費用を使ってこの事業をやったのか。県の見込み違いであったのか。